

會津小鐵 あひづのこてつ 旅客。弘化二年生れ、明治十八年二月十九日歿（一四五一八五）。本名鐵二郎、のち上坂仙吉。京都會津藩邸配下の人足頭として徵用・請負に當り、維新後と抗爭等が勢力を擴げて子分二千入、

大前田英五郎・清水次郎長と並び稱せられた。

文獻、頓陳館半馬著 『地質は會津鍛鍊は二條長脇差小鏡乃利刀』全二冊（内題「長

脇差小鉄酒利刀」明治十七年五月）二十九日出版局・春陽堂）、狐蝶園

若菜著 『地質は會津鍛鍊は二條長脇差小鏡利刀』全二冊（前編・明治十七年五月

二十日梅ヶ月發行、後編・六月十五日梅ヶ月・寶永堂）等。